

70th
Anniversary

創立 70 周年記念
一般社団法人 **日本鍛圧機械工業会**

70th
Anniversary



祝 辞
 経済産業省製造産業局
 素形材産業室長 岡本 繁樹

一般社団法人日本鍛圧機械工業会が 創立 70 周年を迎えられましたことに対し 心よりお慶び申し上げます

一般社団法人日本鍛圧機械工業会が創立 70 周年を迎えられましたことに対し、心よりお慶び申し上げます。

貴工業会は、昭和 23 年に設立されて以来、鍛圧機械の生産、流通、貿易及び利用に関する施策等を通じ、鍛圧機械工業及びその関連産業の健全な発展に大きな貢献を果たしてこられました。マザーマシンを供給する鍛圧機械工業会は、まさに我が国ものづくりの中核的な役割を担ってこられ、創立 70 周年という大きな節目に当たり、貴工業会の皆様の並々な御努力に対し、深く敬意を表する次第であります。

顧みますと、この昭和 23 年という時代は、戦後間もない復興への歩みを始めたばかりであり、産業界においても混乱期にありました。そのような中、我が国機械工業の発展に寄与することを目的に貴工業会が発足し、市場開拓、技術開発、環境・安全対策、標準化活動等を通じ、業界の発展に重要な役割を担ってこられました。自動車、電機等をはじめとするあらゆるユーザー業界の発展は、鍛圧機械の品質・精度・省エネ・作業効率等のあらゆる面での高度化の実現があつて、成し得たものといつても過言ではありません。

現在、保護主義の台頭や先進諸国での少子高齢化の進展など、製造業は世界的に大きな転換点を迎えています。こうした中、従来型の「ものづくり」

も、新たな時代に対応した形へと変革を迫られています。その変革のカギとなるのは、AI、IoT、ビッグデータなど第 4 次産業革命技術を世界に先駆けて取り込んでいくことです。これらは、単なる省人化・効率化に留まらず、全く新しい考え方の下、付加価値を飛躍的に生み出す可能性を秘めています。

経済産業省では、第 4 次産業革命を通じて様々な業種、企業、人、機械等がつながることにより、新たな価値創出を図り、顧客や社会の課題を解決するという、我が国産業の未来像「Connected Industries」を掲げています。この実現に向け、政府一体となつて、設備投資・人的投資に対する法人税・固定資産税の減免措置、データを活用したビジネスの支援など、あらゆる施策を総動員しております。

こうした中、貴工業会の発足から 70 年もの時が流れる今なお、生産性向上に資する先端設備の導入促進等、時代に求められる課題の解決に向けて貴工業会が精力的に取り組んでおられますことは、我が国製造業の発展に向けて大変に心強い限りです。第 4 次産業革命に対応し、将来にわたり、貴工業会が製造業の牽引役となられますことを大きく期待しております。

最後になりますが、貴工業会のますますの御発展と会員企業の御繁栄、更には我が国産業の発展のためにより一層のご活躍をされることを祈念申し上げます。私からのお祝いの言葉とさせていただきます。



挨拶
 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会
 代表理事会長 宗田 世一

会員の方々のご支援のもと 創立 70 周年をむかえることができましたこと 心より御礼申し上げます

当工業会が創立 70 周年を迎えるにあたり、第 18 代会長としてご挨拶を申し上げる機会に恵まれましたことは誠に光栄であります。

一般社団法人日本鍛圧機械工業会は戦後間もない昭和 23 年 12 月 1 日に日本鍛圧機械協会として設立されました。以来 70 年を経て今日の隆盛を築き上げる事が出来たのも、会員各位のご支援とご協力の賜物と深く感謝いたすものであります。

また、関係省庁ならびに関連諸団体、学会や大学の皆様のご指導、ご高配に対しても厚く御礼申し上げます。

さて、70 年の歩みを振り返りますと、戦後の復興期から今日まで、日本の最重要産業となりました自動車産業界の歩みと共に進化、発展し、日本のものづくり産業の発展に貢献して参りました。

創立期は戦後の混乱状態にありましたが、朝鮮動乱特需景気により発展の契機を得ました。その後オイルショック、リーマンショックなど幾多の経済危機や、神武景気、バブル経済期などの繁忙時期等、浮き沈みの激しい経済情勢に左右されながらも、着実に歩んで参りました。

鍛圧・板金・フォーミング機械を取り巻く近年の技術革新には目を見張るものがあり、インターネットを活用したリアルタイムの情報共有に

より全世界ボーダレス化が進んでいます。AI や IoT 等の新しい技術を活用した進化が加速しており、鍛圧機械業界としましても、これらの技術を活用して優れた製品とサービスを提供してゆく必要があります。会員各位と共に産・学・官の連携を密にするなど工業会活動を活性化させてまいります。

この 10 年間では、当工業会として初の単独主催による国際展示会を開催することができました。工業会としては大きな事業展開であり、2008 年のリーマンショック後の世界的経済危機の最中であつた 2009 年に第 1 回 MF-TOKYO を開催しました。以降は隔年に開催し来年は第 6 回を開催いたしますが、年々規模が大きくなっており、工業会会員各社の技術・製品の世界に向けた発信の場としてその存在感が増し、高い評価をいただいております。

今後も活力ある工業会活動を推進し、国内外の工業会や学会などとの連携を強化して、日本のものづくり産業の発展に貢献できるよう尽力してまいります。

創立 70 周年にあたり、会員各位がさらに切磋琢磨され、市場ニーズに応える優れた製品、サービスを提供することによって鍛圧機械業界がさらに発展し、明るい将来が来ることを願っております。

日本鍛圧機械工業会歴代会長



初代会長
1948.12-1955.5
會田 啓之助 (陽啓) (初代)
(株)會田鐵工所
代表取締役社長
現: アイダエンジニアリング(株)



第6代会長
1971.5-1972.5
山田 秀雄
石川島播磨重工業(株)
常務取締役
現: (株) IHI



第10代会長
1988.5-1989.5
赤津 治作
(株)小松製作所
専務取締役



第15代会長
2011.5-2013.5
高瀬 孔平
住友重機械テクノフォート(株)
代表取締役社長
現: 住友重機械工業(株)



第2代会長
1955.5-1956.5
小林 直巳
(株)小松製作所
常務取締役



第7代会長
1972.5-1983.5
藤井 義六
石川島播磨重工業(株)
代表取締役副社長
現: (株) IHI



第11代会長
1989.5-2003.5
天田 満明
(株)アマダ
代表取締役社長



第16代会長
2013.5-2015.5
八木 隆
アイダエンジニアリング(株)
取締役常務執行役員



第3代会長
1956.5-1959.5
會田 啓之助 (陽啓) (初代)
(株)會田鐵工所
代表取締役社長
現: アイダエンジニアリング(株)



第8代会長
1983.5-1987.5
會田 啓之助 (二代)
アイダエンジニアリング(株)
代表取締役社長



第12代会長
2003.5-2007.5
御子柴 隆夫
石川島播磨重工業(株)
代表取締役副社長
現: (株) IHI



第17代会長
2015.5-2017.5
川西 宣明
コマツ産機(株)
代表取締役社長



第4代会長
1959.5-1965.8
佐藤 武三郎
芝浦共同工業(株)
代表取締役社長



第9代会長
1987.5-1988.5
高橋 治
(株)小松製作所
専務取締役



第13代会長
2007.5-2009.5
鈴木 康夫
(株)小松製作所
取締役専務執行役員



第18代会長
2017.5- 現
宗田 世一
(株)エイチアンドエフ
取締役相談役



第5代会長
1965.8-1971.5
高柳 惣三
住友機械工業(株)
専務取締役
現: 住友重機械工業(株)



第14代会長
2009.5-2011.5
春山 紀泰
(株)エイチアンドエフ
代表取締役社長

日本鍛圧機械工業会 70年のあゆみ (1948～2018年)



日本鍛圧機械工業会の主な出来事

- 1948年 12月1日 日本鍛圧機械協会 設立
事務所：東京都千代田区神田山本町
初代会長：會田啓之助
会員社数：40社
- 1951年 東京都台東区下谷へ移転
通商産業省より高性能プレス試作受託
- 1953年 上野広小路会館へ移転
- 1957年 日本鍛圧機械工業会に改称
- 1961年 第1回海外機械工業視察団派遣
- 1962年 第1回日本国際工作機械見本市(大阪)に26社共同出展
工業会PR誌「鍛圧機械」発行
- 1968年 機械振興会館へ移転
- 1970年 欧州機械工業、米国機械工業調査団派遣
- 1974年 ISO/TC39(工作機械)に鍛圧機械のWGが設置され参加登録
- 1975年 第1回欧州国際工作機械見本市(EMO)視察
- 1980年 プレス機械の安全通則 JIS 原案を作成
- 1982年 雇用調整助成金制度に業種指定を受ける
- 1983年 数値制御機械が投資促進税制適用機種に
- 1984年 6月15日 社団法人日本鍛圧機械工業会に改組
- 1986年 若手経営者の会「二一会」発足
- 1990年 日中産業シンポジウムに代表者派遣
- 1992年 海外団体 PL 保険制度創設
- 1995年 鍛圧機械関係 JIS の ISO 整合化実施
国内団体 PL 保険制度創設
- 1998年 工業会PR誌「ぼてんしゃる」発行
- 2000年 ホームページ開設、会報「たんあつ」復刊
- 2006年 「鍛圧機械の産業ビジョン」策定
- 2009年 一般社団法人日本鍛圧機械工業会に移行認可
第1回 MF-TOKYO2009 開催
MF エコマシン制度創設
- 2010年 MF 技術大賞創設
ISO/TC39/SC10 WG1 に代表者派遣
- 2013年 ファイバーレーザー加工機の安全要求事項 T1105の工業会規格策定
- 2014年 MF スーパー特定自主検査制度創設
- 2017年 日本塑性加工学会と産学連携推進(2017.4～共同研究開始)
- 2018年 11月16日 創立70周年記念式典開催

工業会に関連する法令等

- 1949年 通商産業省設置 機械局産業機械課所管 鍛造品課(1947年発足)へ移管
日本工業規格(JIS)制定
- 1954年 企業合理化促進法に鍛圧機械が追加
- 1958年 機械工業振興臨時措置法に機械プレス、液圧プレス、剪断機が追加指定
- 1964年 機械プレス・液圧プレス運転検査方法のJIS制定
- 1967年 プレス関連 JIS 規格制定
- 1971年 特定電子工業及び特定工業振興臨時措置法制定
- 1977年 動力プレス機械構造規格全面改正
- 1978年 動力プレス機械特定自主検査制度施行
- 1983年 中小企業投資促進税制創設
- 1995年 動力プレス特定自主検査制度
- 1997年 総務課素形材産業室所管
- 2001年 製造産業局素形材産業室所管
- 2011年 動力プレス機械構造規格改正
- 2014年 生産性向上設備投資促進税制施行
- 2015年 平成26年補正省エネ補助金施行



社会の主な出来事

- 1945年 広島・長崎に原爆投下、第二次世界大戦終結
- 1946年 日本国憲法公布
- 1949年 湯川秀樹ノーベル物理学賞受賞
1ドル360円単一為替レート設定
- 1957年 日本発の原子炉完成(茨城東海村)
- 1958年 東京タワー完成、1万円札発行
- 1959年 皇太子殿下ご成婚、伊勢湾台風
- 1960年 日米安保条約調印
- 1962年 国産旅客機YS-11初飛行
- 1964年 東海道新幹線開業(東京-大阪間)
東京オリンピック開催
- 1970年 大阪万博開催
- 1972年 沖縄日本に復帰沖縄県発足
札幌オリンピック
- 1978年 成田空港開港
- 1983年 東京ディズニーランド開園
- 1986年 パブル景気、男女雇用機会均等法施行
札幌オリンピック
- 1989年 昭和天皇崩御「平成」に消費税スタート、横浜ベイブリッジ開通
- 1993年 皇太子殿下ご成婚、レインボーブリッジ開通
- 1995年 阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件発生
- 1998年 長野オリンピック開催
- 2003年 日韓共催ワールドカップ開催
- 2008年 トヨタ自動車 GM を抜き生産台数世界一に
iPhone 日本初上陸
- 2011年 東日本大震災
- 2012年 東京スカイツリー開業
- 2013年 東京オリンピック(2020年)招致決定
- 2016年 熊本地震、18歳選挙権施行
- 2018年 西日本豪雨
- 2018年 北海道胆振東部地震
- 1948年 国連総会、WHO 設立
- 1949年 中華人民共和国成立
- 1950年 朝鮮戦争勃発
- 1953年 朝鮮休戦協定調印
- 1957年 ソ連世界初の人工衛星打上
- 1965年 ベトナム戦争勃発
- 1969年 アポロ11号月面着陸
- 1967年 ヨーロッパ共同体(EC)発足
- 1971年 変動為替相場制へ移行
- 1975年 ベトナム戦争終結
- 1978年 日中平和友好条約調印
- 1980年 イラン・イラク戦争勃発
- 1986年 チェルノブイリ原発事故
- 1989年 天安門事件、ベルリンの壁崩壊
- 1990年 東西ドイツ統一
- 1993年 欧州連合(EU)発足
- 1999年 ユーロ誕生
- 2001年 米国同時多発テロ
- 2003年 イラク戦争勃発
- 2008年 リーマンブラザーズ破綻
- 2015年 パリ同時多発テロ
- 2016年 英国 EU 離脱決定
- 2017年 ドナルド・トランプ氏米国大統領就任
- 2018年 朝鮮南北首脳会談、米朝首脳会談

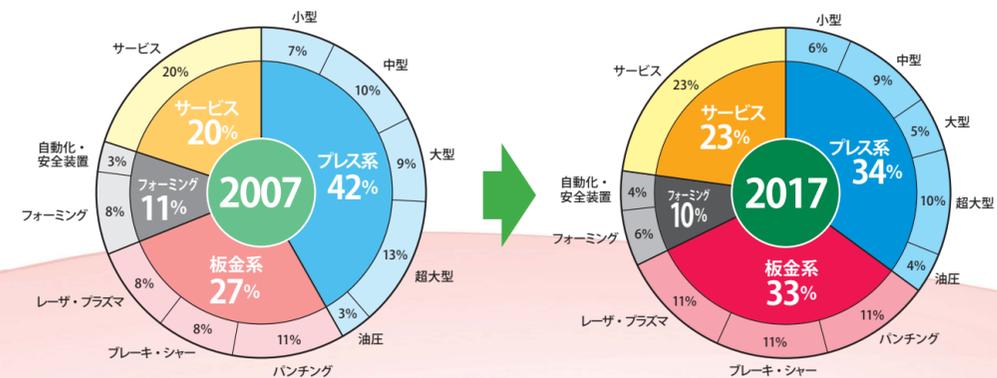


グラフで見る日本鍛圧機械工業 70 年の推移

■ 鍛圧機械の受注金額と会員数の推移



■ 機種別割合の変化 (2007年と2017年の比較)



■ MF-TOKYO 出展社数と来場者数の推移 (共同出展社数除く)



日本鍛圧機械工業会主な活動

■ MF-TOKYO を振り返って

■ MF-TOKYO



2009年にスタートした「MF-TOKYO プレス・板金・フォーミング展」は、隔年に開催され、2019年は第6回目の開催を迎えます。開催毎に規模が大きくなり、国内外の認知度が高まっています。今回は副題を「つながる技術、ひろがる未来」として、鍛圧機械業界の未来を映し出します。

● MF-TOKYO 2019 ポスター

MF-TOKYO 2009



会 期: 2009年10月14日(水)～17日(土)
出展者数: 112社 (202社)※
出展小間数: 701
来場者数: 27,162人

MF-TOKYO 2011



会 期: 2011年8月3日(水)～6日(土)
出展者数: 148社 (228社)※
出展小間数: 891
来場者数: 29,520人

MF-TOKYO 2013



会 期: 2013年7月24日(水)～27日(土)
出展者数: 201社 (301社)※
出展小間数: 1,062
来場者数: 29,631人

MF-TOKYO 2015



会 期: 2015年7月15日(水)～18日(土)
出展者数: 223社 (271社)※
出展小間数: 1,304
来場者数: 30,461人

MF-TOKYO 2017



会 期: 2017年7月12日(水)～15日(土)
出展者数: 265社 (317社)※
出展小間数: 1,669
来場者数: 31,715人

※ 出展者数の()内は内部・共同出展社を含みます。

■ MF 技術大賞を振り返って

■ MF 技術大賞

7つの要素「鍛圧機械、製品加工、研究、素材、金型、システム、製品組立」を組み合わせた高度な製品を表彰します。MF 技術大賞は7つの要素をモチーフにデザインされたクリスタル楕が授与されます。高精度・高生産性ならびに安全・環境性能を顕彰することで、トータルでエコな製品製作の成果を国内外に発信して鍛圧塑性加工技術の発展を目指します。



● 第1回 MF技術大賞 2010-2011 表彰式

■ MF 技術大賞 (2010-2011)

受賞製品: ACサーボダイクッション付大型サーボプレスラインによる自動車ボディパネルの加工 受賞会社: コマツ産機(株) / トヨタ自動車(株)
受賞製品: 高精度ナックルリンクプレスによる高精度サイクロイドギアのプレス加工 受賞会社: (株)アマダ、オリメック(株) / (株)サイベックコーポレーション
受賞製品: サーボパンチプレスとサーボプレスブレーキによる電子機器フレームの溶接レス加工 受賞会社: 村田機械(株)、コマツ産機(株) / (有)トクワエンジニアリング

■ MF 技術大賞 (2012-2013)

受賞製品: 複動5軸油圧プレスによるクラッチハブ加工 受賞会社: 森鉄工(株) / アイシン・エイ・ダブリュ(株)
受賞製品: 4軸直動式サーボプレスによる2段サイクロイドギア加工 受賞会社: (株)放電精密加工研究所 / (株)ヤマナカコーキン
受賞製品: サーボプレスの可変速度制御と電解水による三次元反射鏡加工 受賞会社: (株)アマダ / 高橋金属(株)
受賞製品: サーボプレスとサーボバックアウトでの流動制御によるハブ加工 受賞会社: コマツ産機(株) / 上板塑性(株)
受賞製品: Y開先プラズマ切断機による建設機械部品の開先加工 受賞会社: コマツ産機(株) / (株)飯塚鐵鋼

■ MF 技術大賞 (2014-2015)

受賞製品: 圧造機による自動車エンジン用ハウジング部品加工 受賞会社: 旭サナック(株) / (株)デンソー
受賞製品: サーボプレスとインデックス装置によるキャリアカバー加工 受賞会社: (株)アマダ / アイシン・エイ・ダブリュ(株)
受賞製品: 油圧サーボ制御によるシート加工 受賞会社: 川崎油工(株) / 川崎重工(株)、川崎テクノロジー(株)

■ MF 技術大賞 (2016-2017)

受賞製品: β型チタン合金製部品の一体成型～サーボプレスで成し得た工程削減～ 受賞会社: アイダエンジニアリング(株) / (株)シャルマン
受賞製品: レーザープランキング装置による自動車部品ブランク材製造 受賞会社: (株)エイチアンドエフ / ホンダエンジニアリング(株)、本田技研工業(株)
受賞製品: フローフォーミングによるローターシャフトの製造 受賞会社: 日本スピンドル製造(株) / 日産自動車(株)

■ 様々な活動

■ MF 感謝表彰制度

MF 功績賞など鍛圧機械産業の発展に貢献された方を、奇数年度5月の総会で表彰する制度です。MF 優秀社員表彰は、鍛圧機械の関連現場において、斯業の発展に貢献された優秀な社員を「技術・技能・海外・サポート」4部門で表彰します。

■ MF エコマシシ認証制度

「人と環境に優しいエコプロダクツ(環境配慮型製品)の実現」を掲げ、環境負荷の低減および作業環境の向上に寄与する環境配慮型製品の認証を行っています。



■ MF スーパー特定自主検査制度 (動力プレス機械特定自主検査)

日本鍛圧機械工業会独自の制度として、有資格者による独自の高度で充実した検査項目、機械危険情報のフォロー等を実施し、製造業界の安全啓蒙を併せて進めています。



日本鍛圧機械工業会 会員一覧 (2018年11月16日現在：115社)



株式会社 相澤鐵工所
〒334-0074 埼玉県川口市江戸 1-16-10

株式会社 アイシス
〒452-0836 愛知県名古屋市中区新木町 1 番地

アイセル株式会社
〒581-0068 大阪府八尾市跡部北の町 1-2-16

アイダエンジニアリング株式会社
〒252-5181 神奈川県相模原市緑区大山町 2-10

アサイ産業株式会社
〒923-1104 石川県能美市湯谷町へ 18

株式会社 浅野研究所
〒470-0151 愛知県愛知郡東郷町諸輪北山 158-247

旭サナック株式会社
〒488-8688 愛知県尾張旭市旭前町 5050

旭精機工業株式会社
〒488-8655 愛知県尾張旭市旭前町新田洞 5050-1

株式会社 アマダホールディングス
〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田 200

株式会社 アミノ
〒418-0006 静岡県富士宮市外神上和田 500-2

株式会社 アルファ TKG
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-1-13-701

株式会社 IHI 物流産業システム
〒135-8710 東京都江東区豊洲 3-1-1 豊洲 IHI ビル

株式会社 E プラン
〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町 31-6

株式会社 板屋製作所
〒270-2214 千葉県松戸市松飛台 504

株式会社 エイチアンドエフ
〒919-0695 福井県あわら市自由ヶ丘 1-8-28

株式会社 エーエス
〒131-0034 東京都墨田区堤通 1-18-26

株式会社 エステーリンク
〒959-0113 新潟県燕市笈ヶ島 1365-1

株式会社 エヌエスシー
〒144-0033 東京都大田区東糀谷 5-20-22

榎本機工株式会社
〒252-0101 神奈川県相模原市緑区町屋 1-1-5

株式会社 大阪ジャッキ製作所
〒546-0043 大阪府大阪市東住吉区駒川 1-8-29

大阪ロール工機株式会社
〒555-0012 大阪府大阪市西淀川区御幣島 2-10-29

オーセンテック株式会社
〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野 3-3-2-225

大峰工業株式会社
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-11-4-1000

株式会社 オプトン
〒223-0057 横浜市港北区新羽町 284 リヴィエール・ポーII

オリイメック株式会社
〒259-1198 神奈川県伊勢原市鈴川 6

型研精工株式会社
〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川 61 番地 1

株式会社 金澤機械
〒571-0009 大阪府門真市下馬伏町 19-20

川崎油工株式会社
〒674-0093 兵庫県明石市二見町南二見 15-1

株式会社 川副機械製作所
〒660-0803 兵庫県尼崎市長洲本通 2-8-33

株式会社 関西鐵工所
〒538-0051 大阪府大阪市鶴見区諸口 4-8-30

株式会社 ギア
〒981-3627 宮城県黒川郡大和町吉岡東 3-2-18

株式会社 キャドマック
〒145-0063 東京都大田区南千束 1-4-1

キョウシンエンジニアリング株式会社
〒520-2152 滋賀県大津市月輪 3-13-14

協和マシン株式会社
〒939-1112 富山県高岡市戸出春日 795

株式会社 栗本鐵工所
〒550-8580 大阪市西区北堀江 1-12-19

京葉バンド株式会社
〒272-0032 千葉県市川市大洲 4-7-12

ゲルブ・ジャパン株式会社
〒254-0035 神奈川県平塚市宮の前 1-2 エパス第 7 平塚ビル 8F

小池酸素工業株式会社
〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台 1-9-3

株式会社 向洋技研
〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名 4020-4

コータキ精機株式会社
〒411-0934 静岡県駿東郡長泉町下長窪 1032

株式会社 小島鐵工所
〒370-0883 群馬県高崎市剣崎町 155 番地

株式会社 コニック
〒709-4321 岡山県勝田郡勝央町太平台 10-5

株式会社 小松製作所
〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6

コマツ産機株式会社
〒920-0225 石川県金沢市大野町新町 1 番 1

コムコ株式会社
〒473-0933 愛知県豊田市高岡町松葉 92-1

株式会社 小森安全機研究所
〒343-0846 埼玉県越谷市登戸町 19-14

株式会社 阪村ホットアート
〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山 新開地 5-1

株式会社 阪村機械製作所
〒613-0035 京都府久世郡久御山町下津屋 富ノ城 46

株式会社 サルバニーニジャパン
〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ 1-3-13

三起精工株式会社
〒326-0328 栃木県足利市県町 890 - 4

株式会社 三共製作所
〒114-8538 東京都北区田端新町 3-37-3

しのはらプレスサービス株式会社
〒273-0016 千葉県船橋市潮見町 34-2

株式会社 芝川製作所
〒332-0035 埼玉県川口市西青木 4-2-27

澁谷工業株式会社
〒920-0054 石川県金沢市若宮 2-232

蛇の目ミシン工業株式会社
〒193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地

杉山電機システム株式会社
〒454-0872 愛知県名古屋市中川区 万町 611 番地

住友重機械工業株式会社
〒141-6025 東京都品川区大崎 2-1-1 Think Park Tower

ゼロフォー株式会社
〒243-0014 神奈川県厚木市旭町 1-8-6 パストラルビル 3F

ソノルカエンジニアリング株式会社
〒566-0062 大阪府摂津市鳥飼上 4 丁目 8-28

株式会社 大東スピニング
〒370-0603 群馬県邑楽郡邑楽町中野 738-5

大同マシナリー株式会社
〒457-8577 愛知県名古屋市中南区滝春町 9

ダイマック株式会社
〒459-8001 愛知県名古屋市長区大高町 字寅新田 130-1

大陽日酸株式会社
〒142-0092 東京都品川区小山 1-3-26

高千穂システムエンジニアリング株式会社
〒230-0074 神奈川県鶴見区北寺尾 2-2-24

株式会社 タガミ・イーエクス
〒923-1101 石川県能美市粟生町西 2-2

伊達機械株式会社
〒339-0002 埼玉県さいたま市岩槻区 裏慈恩寺 367-1

株式会社 ティーエスエイチインターナショナル
〒224-0045 神奈川県横浜市都筑区東方町 134

ティーエスプレジジョン株式会社
〒740-0014 山口県岩国市日の出町 2-36

東和精機株式会社
〒446-0007 愛知県安城市東栄町 5-26-7

トルンプ株式会社
〒226-0006 神奈川県横浜市緑区白山 1 丁目 18-2

株式会社 中島田鉄工所
〒834-0196 福岡県八女郡広川町大字日吉 1164-4

株式会社 中田製作所
〒532-0027 大阪府大阪市淀川区田川 3-7-6

ニシダ精機株式会社
〒252-0253 神奈川県相模原市中央区南橋本 4-3-3

株式会社 ニッセー
〒409-0502 山梨県大月市富浜町鳥沢 2022

日本オートマチックマシン株式会社
〒146-0092 東京都大田区下丸子 3-28-4

日本スピンドル製造株式会社
〒661-8510 兵庫県尼崎市潮江 4-2-30

日本電産シンボ株式会社
〒617-0833 京都府長岡京市神足寺田 1 番地

日本ムーグ株式会社
〒254-0019 神奈川県平塚市西真土 1-8-37

株式会社 能率機械製作所
〒279-0001 千葉県浦安市当代島 2-9-41

株式会社 バイカルジャパン
〒171-0014 東京都豊島区池袋 2-40-12 西池袋第一生命ビルディング 4F

バイストロニックジャパン株式会社
〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平 2-95-3

パスカル株式会社
〒664-8502 兵庫県伊丹市鴻池 2-14-7

日高精機株式会社
〒386-1211 長野県上田市下之郷 812-11

日立オートモティブシステムズ株式会社
〒243-8510 神奈川県厚木市恩名 4-7-1

ファインツール・ジャパン株式会社
〒243-0036 神奈川県厚木市長谷 260-53

ファナック株式会社
〒401-0511 山梨県南都留郡忍野村

株式会社 ファブエース
〒224-0007 神奈川県横浜市都筑区荏田南 4-1-23

株式会社 富士機工
〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平 2-92-3

富士商工マシナリー株式会社
〒352-0011 埼玉県新座市野火止 2-5-34

株式会社 フリーベアコーポレーション
〒577-0827 大阪府東大阪市衣摺 6-3-3

株式会社 放電精密加工研究所
〒252-0002 神奈川県座間市小松原 1-39-32

ホソダクワイエイティブ株式会社
〒399-8204 長野県南安曇市豊科高家 2287-13

株式会社 松本製作所
〒547-0023 大阪市平野区瓜破南 2-3-11

株式会社 マテックス精工
〒300-1245 茨城県つくば市高崎 1490

株式会社 万陽
〒531-0077 大阪市北区大淀北 1-7-3

三菱長崎機工株式会社
〒851-0301 長崎県長崎市深堀町 1-2-1

宮崎機械システム株式会社
〒597-8588 大阪府貝塚市新井一番地

村田機械株式会社
〒484-8502 愛知県犬山市橋爪中島 2

株式会社 メガテック
〒990-2453 山形県山形市若宮 1-9-8

株式会社 モリタアンドカンパニー
〒485-0051 愛知県小牧市下小針中島 1-200

森鉄工株式会社
〒849-1302 佐賀県鹿島市大字井手 2078

ヤマザキマザックオプトニクス株式会社
〒505-0037 岐阜県美濃加茂市前平町 3-1-2

株式会社 山田ドビー
〒494-8511 愛知県一宮市玉野下新田 35

株式会社 山本水圧工業所
〒561-0835 大阪府豊中市庄本町 2-8-8

油圧機工業有限公司
〒444-0522 愛知県西尾市吉良町下横須賀 七ツ山 29

ユーエスウラサキ株式会社
〒509-0103 岐阜県各務原市各務東町 5-82-17

株式会社 ユーロテック
〒194-0215 東京都町田市小山ヶ丘 3-7-11

株式会社 ユタニ
〒581-0039 大阪府八尾市太田新町 4-88

株式会社 吉田記念
〒299-4403 千葉県長生郡睦沢町上市場 600 番地

株式会社 ヨシツカ精機
〒211-0051 神奈川県川崎市中原区宮内 2-25-16

株式会社 吉野機械製作所
〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台 1-5-18

株式会社 理研オペテック
〒140-8533 東京都品川区東大井 2-6-9

株式会社 理研計器奈良製作所
〒633-0054 奈良県桜井市阿部 49-1

株式会社 理工社
〒285-0812 千葉県佐倉市六崎 1651-1

ロス・アジア株式会社
〒252-0245 神奈川県相模原市中央区田名 塩田 1-10-12